

計 算 基 準

| | 洋紙(1,000枚建) | 板紙(100枚建) |
|------------------------|---|--|
| 連量(kg) | 面積(m ²)× 米坪量(g/m ²)× $\frac{1000}{1000}$ | 面積(m ²)× 米坪量(g/m ²)× $\frac{100}{1000}$ |
| 米坪量(g/m ²) | $\frac{\text{連 量 (kg)} \times 1000}{\text{面 積 (m}^2\text{)} \times 1000}$ | $\frac{\text{連 量 (kg)} \times 1000}{\text{面 積 (m}^2\text{)} \times 100}$ |
| 寸法 | ミリメートル (mm) | センチメートル (cm) |
| 面積 | 平方メートル単位として小数点4位を四捨五入し3位で留める 但しB/4仕立は小数点5位を四捨五入して4位で留める | 同左 |
| 米坪量 | 小数点2位を四捨五入し1位で留める | 400g/m ² 以上は50g毎を単位とする 400g/m ² 以下は10g毎を単位とする |
| 連量 | (イ)小数点1位を二捨三入七捨八入して整数又は0.5kg単位とする (ロ)洋紙B/4仕立は小数点2位を二捨三入七捨八入して整数又は0.05kg単位とする (ハ)小数点2位を四捨五入して1位に留める 薄葉紙(タイプ用紙グラシン紙等)及び雑種紙等に適用 | (イ)同左 (ロ)米坪量200g/m ² 以下のものは小数点2位を四捨五入して1位に留める場合もある |
| 連量の表示 | ◇ | △ |

巻取紙に関する算式

| | |
|----|---|
| ◇ | RW……………巻取の実重量(kg) |
| ◇ | CW……………芯棒・ワンプ等吐装用具の重量 |
| ◇ | W……………巻取の紙の実重量(RW-CW)(kg) |
| ◇ | w……………巻取の中(m) |
| ◇ | s……………米坪量(g/m ²) |
| ◇ | D……………巻取の外径(m) |
| ◇ | d……………芯棒の直径(m) |
| ◇ | t……………紙 厚(m) |
| ◇ | L……………巻込み全長(m) |
| ◇ | π……………3.1416 |
| 一、 | 所定の芯棒に所定の米坪量の紙を、所定の長さ巻いた場合の巻取の総重量を知る方法。 $\frac{s \cdot w \times L}{1,000} + CW = RW$ |
| 二、 | 所定の芯棒に所定の厚さの紙を、所定の長さ巻いた場合の巻取の外径を知る方法。 $D = \sqrt{\frac{4 \cdot t \cdot L}{\pi} + d^2}$ |
| 三、 | 所定の芯棒に巻いた所定の米坪量の巻取から、その巻込みの全長を知る方法。 $L = \frac{RW - CW(W)}{s \cdot w} \times 1,000$ |
| 四、 | 所定の芯棒に巻いた所定の紙厚の紙の巻取から、その巻込みの全長を知る方法。 (所定の芯棒に所定の紙厚の紙を所定の巻取の外径にするには、その巻込の全長は如何にするか。 $L = \frac{\pi (D^2 - d^2)}{4 \cdot t}$ |